

セルロイドアクセサリ調査報告（第1報）

梅井勇雄、佐藤功

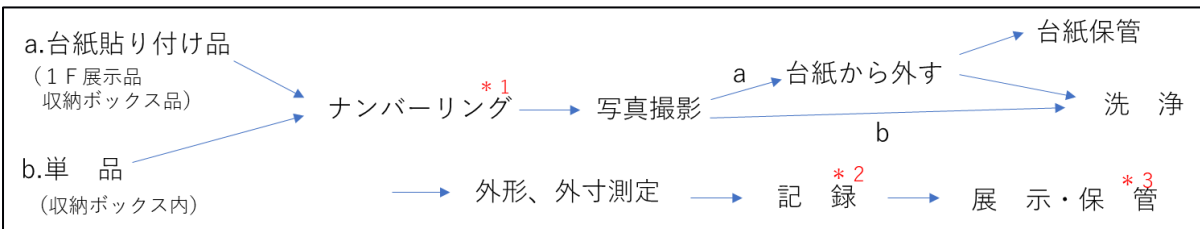
1. 調査の概要

セルロイドハウスにはブローチ、イヤリング、腕輪などのアクセサリ類が多数収蔵されている。長期間保管されていたため、汚染が激しいもの、台紙が劣化し散逸リスクのあるものなどがありこれらの緊急対応が求められていた。この対策を統合的に進めると同時にコレクション調査を進め概要を明らかにする。

図1 従来の展示



2. 調査法



3. 進捗状況

- (1) 1000個（台紙数30枚）程度終了。
- (2) それぞれに固有No.を付与し、表1のようなデータベース（excel、写真添付）化を進めている。

表1 データベースの例

台紙No	No	写真	概寸 (mm)	印字No	手書き等	特記事項	金型No
26	429		36×72×5	No902	ドル表示の値札 3.50 (札裏面\$2.80)	ブローチ完成品 裏面の止め金にOccupied Japanの刻印	1524

4. 調査によって判明したこと

図2 台紙についているマーク

(1) 台紙

- ・半製品、製品で台紙に張り付けた見本帳としての形態のものがほとんど
専用台紙（ガイナス印、図2）23枚と厚紙の台紙47枚



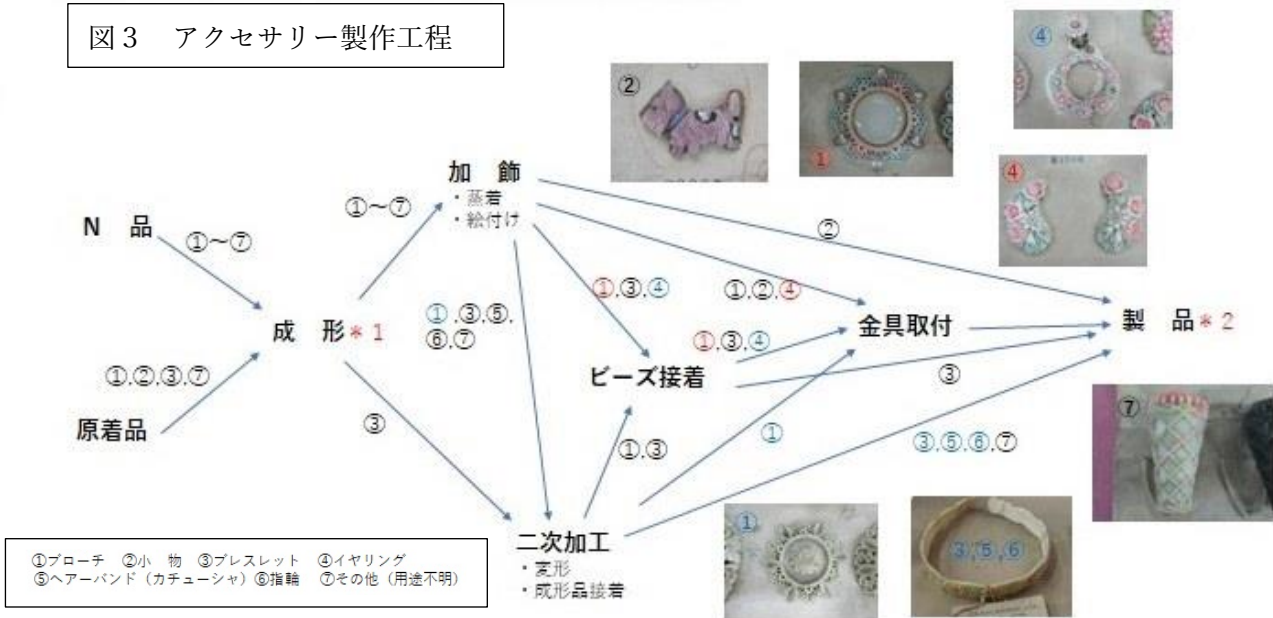
(2) 製品類型

下記のようなものが含まれていた

- ①ブローチ ②小物 ③ブレスレット ④イヤリング ⑤ヘアバンド(カチューシャ) ⑥指輪
- ⑦その他(用途不明)

(3) 加工工程の推定

各製品は図3に示すように製品ごとに異なった工程で作られていたことが推察できる。



*1 成形法 : 製品のほとんどが圧搾成形品で、特に図4①キャビ/平板型によるものが多い。数は少ないが図4②キャビ/コア型によるものもある。このほか中空成形と思われるものも見受けられた。

図4 圧搾成形品の金型(断面)



*2 製品 : ①後加工(図5)や②パーツの組み合わせ(図6)等により多様性を図っている
図5 円錐台中空装飾品の例

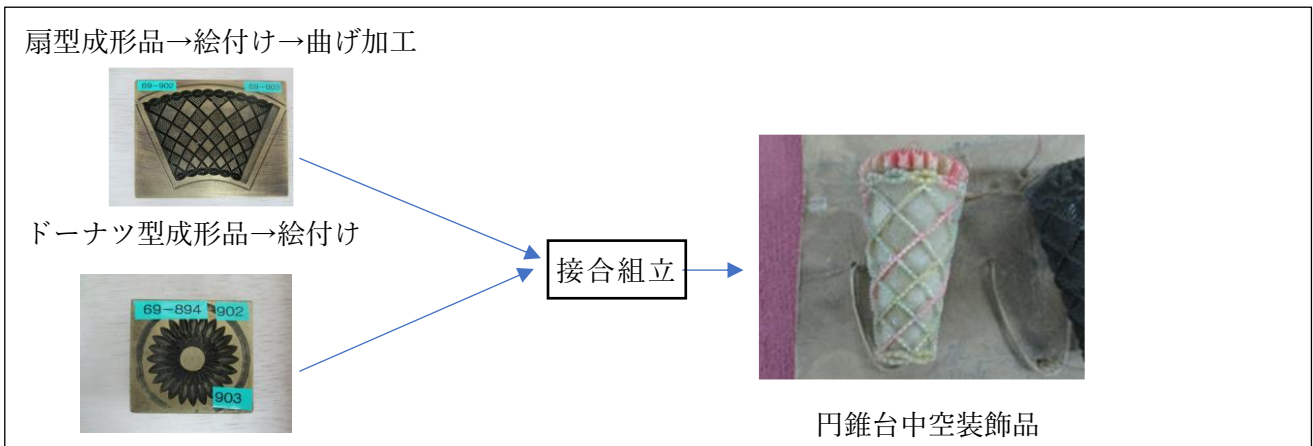


図6 様々な手法で多様化した例



(4) 時代の推定

ほんのわずかだが、製作、流通の時期が推測できるものがあった。

図7 OCCUPIED JAPAN」の刻印

- ① 裏面金具に「OCCUPIED JAPAN」の刻印 (図7)
 - … 1947～1952製
- ② 裏面素地に「JAPAN」印字、金具に「JAPAN」の刻印 (図8)
 - … 1949～1952製の可能性あり
- ③ 台紙に印字
 - ・台紙59：16000-1957
 - ・台紙60：16000 SERIES FOR 1957



SHIPPING SAMPLES "PIONEER MILL" OCT 1 1956 KOBE
(製品裏面に「JAPAN」の印字)

図8 金具に JAPAN 印字



図9 台紙に日付



(5) 成形金型との照合

約200個のアクセサリは成形に使用した金型が特定出来たので、金型リストとの対応をデータベース化し (表2参照)、対応研究を可能にした。

図10 対応金型の例



表2 金型とのマッチングデータベース

マッチングNo	製 品						金 型				
	シートNo	製品No	写真	寸法(mm)	重量(g)	特記事項	No	写真	寸法(mm)	重量(g)	特記事項
M1	1	2		28φ×9.5			110		39×78.9×13.3	297	2個取り
M3	1	13		37.5φ×8.5			1463		48.9×51.4×13.2	258	

(6) 金具について

用途に応じた金具が使われている。

- ・ブローチ用ピン止め：①針金型②板金型（図1 1）③抜け留め付き（図1 2）
- ・イヤリング用：④クリップ式（図1 3）⑤ネジ式（図1 4）
- ・その他：⑥ボルト（図1 5）、⑦その他（図1 6）

図1 1 板金型ピン止め



図1 2 抜け留め付き



図1 3 クリップ式



図1 4 ねじ式



図1 5 埋め込みボルト



図1 6 その他の例（ひもかけ?）



(7) その他

値札の付いたもの（図1 7）、台紙に使用法が推定できる絵（図1 8）がある。

図1 7 値札の付いている例



図1 8 使用法が推察できる絵



5. まとめ

- (1) 弊コレクションのアクセサリーの概要が分かった。
- (2) 洗浄法、整理法などのノウハウを確立でき、展示を一新することが出来た。
- (3) データベース化、所蔵法を確立できた。

6. 今後の進め方

- (1) 洗浄、データベース化の継続
- (2) 製造法・流通形態などの技術史・産業史的検討、考察